学校番号	119

平成 31 年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	高校生の美術 1　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術の基礎力として、人物クロッキー・デッサン基礎・油絵・版画・色彩構成など、多様なジャンルに取り組み、観察力・発想力・表現力・鑑賞力・粘り強さを身につけましょう。特に人の感情や生活に影響する色彩感覚と構成力を養い、人生を豊かにする知識や感性を高めましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じとったことや、考えたこと、目的、機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 鑑賞の様子 レポート ワークシート 出欠状況	ワークシート 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	レポート 鑑賞の様子 発表内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	人物クロッキー	【絵画】【鑑賞】 短時間で人物の骨格や筋肉などの構造を理解し、描く	○	○	○	○	a:クロッキーのポイントを押さえ描くことを理解し、意欲的に取り組もうとしている。 b:モデルをよく観察し。人物の骨格や特徴をつかみバランスよく描けている。 c:画材の特性を理解し。表現方法を工夫している。 d:たがいの作品をよく鑑賞し、表現力の違いや工夫を理解し、そのよさを味わっている。	制作の様子 レポート 鑑賞の様子
	デッサン基礎	【絵画】【鑑賞】 紙コップの形状・構造をよく観察し、立体感・質感を鉛筆のグラデーションで表現する。	○		○	○	a:鉛筆の特性や表現方法を理解し、意欲的に取り組もうとしている。 c:鉛筆の削り方、直線・楕円の描き方・濃淡の表現を身に付け、紙コップの細部まで観察し、描く工夫をしている。 d:互いの作品をよく鑑賞し表現力の違いや工夫を理解し、そのよさを味わっている。	制作の様子 作品 鑑賞の様子
	油絵抽象画	【絵画】【鑑賞】 油絵具を使用し、心象・抽象表現を行う。	○	○	○	○	a:油絵具の特性を理解し、表現方法を主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを理解し人の感情など色や質感で表現するよう構想を練っている。 c:表現したいテーマに沿い。道具の違いにおける表現方法の違いを理解し、工夫している。 d:互いの作品をよく鑑賞し、表現力の違いや工夫を理解し、そのよさを味わっている。	制作の様子 作品

	回転版画	【版画】【鑑賞】 版を90度ずつ回転させ、異なる3色を重ねて刷る。	○	○	○	○	a:回転版画の目的を理解し、構成を考え、主体的に取り組もうとしている。 b:版につける型の美しさを考え個性的な模様を発想している。 c:刷工程のポイントを理解し、刷り方を工夫している。 d：互いの作品をよく鑑賞し、表現力の違いや工夫を理解しそのよさを味わっている。	制作の様子 ワークシート 作品
二学期	色彩表現	【デザイン】【鑑賞】 ・色彩基礎 ・色彩平面構成 テーマに沿った色相・明度・彩度を考え、配色・構成を工夫し表現する	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○	a:色の仕組みや性質を理解し、自由に混色できる。テーマに沿った構成やイメージに合った配色など、面や色彩などの効果を考えた構想を練ったり、主体的に表現しようとしている。 b:条件を理解し、テーマに合った構想を練っている。 c:絵具の特性を活かし、ベタ塗りで条件や計画を基に色彩表現している。 d：互いの作品をよく鑑賞し、表現力の違いや工夫を理解しそのよさを味わっている。	制作の様子 ワークシート 作品
三学期	スケッチ	【絵画】【鑑賞】 鉛筆で描く ペンで描く 綿棒で描く	○		○	○	a:自然や身近なものを深く観察し、よさや美しさなどを意欲的に感じ取り発見しようとしている。 c:形態の特長をつかみ、用具の特性を生かした表現方法を工夫している。 d:互いの作品をよく鑑賞し表現力の違いや工夫を理解し、そのよさを味わっている。	制作の様子 作品 鑑賞の様子

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。